

⑦ 指揮統制 コース構成表 (第1期)

資料1-2

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)		単元 (第4階層)	手法	単元の概要	学習目標 (第5階層)
1	指揮統制総論	維持	指揮統制総論	座	災害対策本部組織の統制していくための理論と基本構造を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部組織を統制していくための理論を説明できる。 災害対策本部組織を統制していくための基本構造を説明できる。 危機対応の標準化と規格について説明できる。
2	リーダーシップ	維持	危機対応組織のリーダーの役割1 「組織運営」・「安全管理」	座	危機対応組織のリーダーに求められる4つの役割のうち組織運営と安全管理に関する知識を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応組織の体制とその機能について説明できる。 指揮命令に関するルールについて説明できる。 二次災害を防止するための安全管理について説明できる。
3	指揮命令	統合	危機対応組織のリーダーの役割2 「情報処理」・「広報」	座	危機対応組織のリーダーに求められる4つの役割のうち情報処理と広報に関する知識を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応組織の情報処理の標準化手法について説明できる。 状況認識の統一と災害対応計画の策定について説明できる。 とりまとめ報の作成と災害広報の手法について説明できる。
4	広報・安全管理	拡充	災害広報	座	地方公共団体の災害広報における「広報内容の検討」の手順と方法を事例をもとに学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 被災自治体による広報活動の実態を事例から説明できる。 災害時の行政機関による広報の内容・方法等を説明できる。 災害時の広報活動を適切に実施するための情報処理のポイントを説明できる。
5	組織間連携	統合	模擬記者会見	演	地方公共団体の長や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのかを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 記者会見におけるポイントを、視聴者の立場から説明できる。 記者会見時の内容（発言・態度等）に関する留意事項を説明できる。 記者会見の進行・運営における留意事項を説明できる。
6	災害対策本部業務	維持	トップにとっての 災害対策本部運営	座	危機対応組織のトップがどのように災害対策本部を運営していくのかについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応組織のリーダーが行う具体的な指揮統制の手法について説明できる。
7	災害対策本部マニュアル	コース変更 ⇒⑧対策立案 「効果的なマニュアル作成」	リーダーシップ	座	リーダーシップの理論と指揮命令を行うための要求事項を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップの基本的な理論を説明できる。 リーダーに求められる役割について説明できる。 リーダーとフォロアーの関係について説明できる。
8	災害対策本部運営演習	コース変更 ⇒⑧対策立案 「災害対策本部運営演習」	指揮統制の現状	座	大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語る。	<ul style="list-style-type: none"> 経験を基にした指揮統制の実態と考え方を説明できる。
9						
10	全体討論	維持	全体討論	演	防災力アップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。